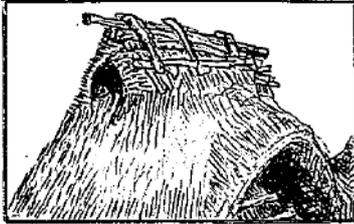


組 番 名前

◎ 日本の国がつくられてきたころのことについて、以下の問いに答えなさい。

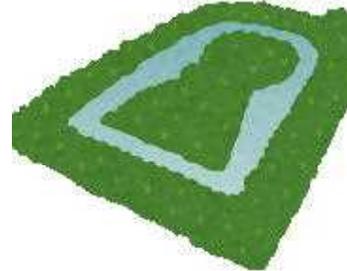
ア



イ



ウ



- (1) 福岡県福岡市にある板付遺跡に人々が暮らし、栄えていたころの時代を何時代というか、答えなさい。
- (2) 上の写真アは、(1)の時代の住居を復元したものです。この住居の名前を答えなさい。
- (3) 上の写真イは、(1)の時代よりも前の時代に使われていた土器です。この写真の土器に代表されるような、表面に縄目の文様がつけられていることが多い土器の名前を答えなさい。
- (4) 3世紀後半以降、古墳と呼ばれる豪族の大きな墓がつくられるようになりました。そのうちで、上から見るとウのような形をした古墳の名前を答えなさい。

解答欄

(1)	時代	(2)	住居
-----	----	-----	----

(3)	土器	(4)	墳
-----	----	-----	---

歴史 1 第 3 章 古代までの日本 (2) 日本列島の誕生と大陸との交流 <基礎問題②>

組 番 名前

◎ 日本の国がつくられてきたころの中国や朝鮮半島との関係について、問いに答えなさい。

(1) 今から二千数百年前に日本に伝えられたと考えられ、人々の生活や社会のあり方を大きく変えた作物は何か、答えなさい。

(2) 上の作物をつくる生活が広がってきたころ以降、朝鮮半島から日本列島へわたって住み着き、様々な技術や文化を日本に伝えた人々を何とよぶか、答えなさい。

(3) 上の人々が日本に伝えた技術にはどのようなものがあるか、2つ答えなさい。

解答欄

(1)		(2)		(3)		
-----	--	-----	--	-----	--	--

歴史 1 第 3 章 古代までの日本 (2) 日本列島の誕生と大陸との交流 <基礎問題③>

組 番 名前

◎ 古代の日本について、以下の問いに答えなさい。

- (1) 千葉県にも、縄文時代、弥生時代、古墳時代の遺跡が数多くあります。そのうち、縄文時代の遺跡で、日本の最大級の貝塚が千葉市にあります。その貝塚の名前を答えなさい。
- (2) 青森県で遺跡が発見され、その発掘調査された遺跡により、それまで考えられていた縄文時代の姿が大きく変わることになりました。この遺跡の名前を答えなさい。
- (3) 下の文章の () の①、②にあてはまる言葉を答えなさい。

日本列島において稲作が盛んになると、社会の仕組みも急速に変わり、小さな国々ができてきた。

中国の歴代の歴史書には、1世紀の半ば頃に倭(日本)の(①)の王が漢に使いを送り皇帝から金印を授けられたことや、3世紀に倭(日本)の(②)という国が中国の魏と交流したことが記されている。

解答欄

(1)		(2)	
	貝塚		遺跡
(3)	①	②	

歴史 1 第 3 章 古代までの日本 (2) 日本列島の誕生と大陸との交流 <基礎問題④>

組 番 名前

◎ 古代の日本について、以下の問いに答えなさい。

(1) 佐賀県で発見され、その発掘調査を通して、それまで考えられていた弥生時代の姿が大きく変わることになりました。この遺跡の名前を答えなさい。

また、この遺跡では、集落がほりで囲まれていたり、やぐらが建っていたと思われる跡が発見されました。

これらがなぜつくられたと考えられるか、答えなさい。

(2) 3世紀の倭(日本)にあったある国に関して、日本のことを下のよう書いてある歴史書の名前を答えなさい。また、この文中の a にあてはまる人の名前を答えなさい。

・・・その国はもともと男が王だった。しかし国が乱れ、何年も戦乱が続いたので、相談して女性の (a) を王に立てた。

(a) は鬼道を使い、よく人々をまどわす力を持っていた・・・

解答欄

(1)	遺跡の名前：	遺跡
	自分の考え：	
(2)	歴史書の名前：	
	人の名前：	

【解 答】

- (1) 弥生 (時代) (2) 竪穴 (式) (住居)
(3) 縄文 (式) (土器) (4) 前方後円 (墳)

【解 説】

- 小学校で学習した基本的な事柄です。縄文時代と弥生時代について、社会や人々の生活を比較しながら整理するとわかりやすいです。

歴史1 第3章 古代までの日本 (2) 日本列島の誕生と大陸との交流

<基礎問題②・解答>

【解答】

- (1) 米(稲) (2) 渡来人
(3) 機織はたおり, 養蚕ようさん, 鍛冶かじ, 酒づくり, 製紙, 筆づくり, 陶器, 須恵器, 馬具, ため池づくりなど

【解説】

- 米づくりをはじめ, 大陸から様々な技術や文化が伝わってきて, それらが日本の国の発展に大いに役立ちました。日本の国づくりには, それらをもたらしした渡来人の存在が大きかったのです。

歴史 1 第3章 古代までの日本 (2) 日本列島の誕生と大陸との交流

<基礎問題③・解答>

【解 答】

- (1) 加曾利貝塚 (2) 三内丸山遺跡
(3) ① 奴国 ② 邪馬台国

【解 答】

- (1) 遺跡の名前…吉野ヶ里遺跡
つくられた理由…他のむら(くに)との争いに備え、集落を守るためにつくられたと考えられる。
- (2) 【歴史書の名前】「魏志」の「倭人伝」
【人の名前】卑弥呼

【採点基準】

番号	採 点 の 基 準
(1)	「理由」については、‘争いがあったこと’と‘集落を敵から守る必要性があったこと’が書いてあれば正答とする。
(2)	「魏志倭人伝」でも可。

【解 答】

- (1) 大王 (2) 高句麗
 (3) 倭の王としての地位と朝鮮半島での軍事について、中国の皇帝に認めてもらい、援助してもらおうとしたから。(50字)

【解 説】

- 縄文～古墳時代の日本の様子や遺跡についての問題です。社会の変化や国家の形成の過程において、大陸との関係が深いことがわかります。主な遺跡などの位置は、地図帳を使って確かめておきましょう。また、主な出来事などは、年表を利用して整理するとわかりやすいです。
- 三内丸山遺跡や吉野ヶ里遺跡は、日本の古代史を書き換えたといわれます。歴史は、新しい発見により、それまでの定説がくつがえされます。その意味で歴史は「固定されたものではなく、どんどん変わるもの」だといえます。
- 歴史には、定説が定まっていなかったものもあります。邪馬台国はその代表的なものです。「魏志倭人伝(正式には『三国志 魏書 東夷伝倭人条』)」の限られた記述の中から、様々な解釈がされ、多くの論争が行われています。学者でも、中学生でも、資料をもとに想像をふくらませながら自分の考えを創り出していく上で、同列といえます。ここに、歴史を学ぶ大きな楽しさ・面白さの一つがあります。なお、一般的に「邪馬台国」は「やまたいこく」、「卑弥呼」は「ひみこ」と言われますが、実際にどのように読んだのかはわかりません。多くの人が支持する説でこのような読みがされているので、一般的にこの読みを使用している、ということです。

【採点基準解】

番号	採 点 の 基 準
(3)	(文字数) ・ 40字～60字で、配点どおりに与える。 ・ 30字～39字で、配点の5割程度与える。 ・ 30字未満は、点を与えない。 (内容) ・ 模範解答に近い内容でキーワード(「倭の王」「中国の皇帝」)が含まれていれば点を与える。

【解 答】

- (1) 中国 → 朝鮮半島の国 → 日本
(2) 稲作がさかんになると、**貧富**による身分の差が生まれ、強い**権力**を持つ支配者が出てきた。**むら**同士の協力や争いなどから、有力なむらが周囲を従え、勢力を広めて**国**となり、次第により大きな国にまとまっていった。(98字)

【解 説】

- 日本人の生活・文化の発展や、日本の古代国家の形成の上で、大陸の影響を大きく受けていることを自分の言葉で説明する問題です。
中国や朝鮮半島の文明がなかったら、あるいはこれらの文明が日本に入ってきたら、日本は長い間ずっと、文化的にも技術的にも遅れ、国家としても未形成であったと考えられています。
- 記述のポイントは、「稲作の広がりにより、貧富の差が大きくなり、権力者が生まれたこと」「有力な村が勢力を強めて周囲を従えていき、次第に大きな国のもとにまとまってきたこと」です。

【採点基準】

番号	採 点 の 基 準
2	(文字数) ・ 90字～100字で、配点どおりに与える。 ・ 80字～89字で、配点の8割程度与える。 ・ 80字未満は、点を与えない。 (内容) ・ 模範解答に近い内容でキーワード(「貧富」「権力」「むら」「国」)が含まれていれば点を与える。